

小学校 第2学年 道徳科 学習指導案

東京都板橋区立北野小学校
主任教諭 山中 麻衣

主題名 あいてのことを思って

教材名 ぐみの木と小鳥（1時間）

内容項目 B 親切、思いやり

本時の
ねらい

相手のことを思いやるぐみの木や小鳥の気持ちについて考えることをとおして、相手のことを考え、親切に、温かい心で接することのよさに気づき、すすんで親切をしようとする心情を育てる。

指導時期 3月上旬ごろ

この時期の児童は、発達段階から、自分中心の考えで行動することが多い。その一方、さまざまな人との関わりの中で、相手の考えや気持ちについて考え始める時期でもある。

地域の人とのつながりや自分自身の成長について考える他教科の学習とも連携しながら、温かい心で接することや親切にすることの大切さについて考えを深められるようにしたい。

指導者用デジタル教材活用の意図・目的

1 さし絵の活用

教科書では本文ばかりに注目しがちだが、指導者用デジタル教材の拡大表示機能を活用することでさし絵や写真にも注目させることができる。また、印刷する手間がないためすぐに活用することができる。

2 考えるシート

物語全体の流れが1枚にまとまっているため、児童にとってわかりやすい。

3 思考ツール

黒板等に直接書き込むと、児童の発言を動かして見せることが難しい。「指導者用デジタル教材」上では児童の意見を思考の過程に合わせて簡単に動かすことができるため、使いやすい。

本時の展開

導入では、困っている人への親切について考える。児童に問いかけたあとに1枚めの挿絵を見せながら、ぐみの木と小鳥が困っていることを確認する。展開では「考えるシート」を使い、この教材の全体を捉えられるようにする。また「思考ツール」を使い、ぐみの木と小鳥のそれぞれの優しさがどのようなものなのかを考えさせるようにする。

	活動内容	デジタル教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none">「指導者用デジタル教材」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。	

	活動内容	デジタル教材の活用
導入	<p>1. 困っている人への親切について考える。</p> <p>T：困っている人がいたら、あなたならどうしますか。</p> <p>◎：「どうしたの？」と声をかける。</p> <p>◎：声をかけるか迷う。</p> <p>◎：できることをする。</p> <p>◎：手伝う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 1枚めのさし絵を見せながら、ぐみの木、小鳥がそれぞれ困っている様子を確認する。それぞれがどのように行動する話なのか、考えながら朗読を聞くように伝える。 
展開	<p>2. 『ぐみの木と小鳥』を読んで、相手のことを考え、親切に接することの大切さについて考える。</p> <p>T：あらしがやまない中、小鳥はじっと、どのようなことを考えていたのでしょうか。</p> <p>◎：りすさんは、だいじょうぶだろうか。</p> <p>◎：りすさんは怖い思いをしているのかもしれない。</p> <p>T：小鳥の優しさと、ぐみの木の優しさは、どのようなものでしたか。</p> <p>3. 相手のことを考え、温かい心で接することのよさについて、自分のこととして考える。</p> <p>T：今まで親切にしたり、されたりしたことには、どのようなことがありましたか。そのとき、どんなことを思いましたか。</p> <p>◎：重い荷物を一緒に運んだ。役に立ててうれしかった。</p> <p>◎：けがをしたときに、保健室に連れて行ってもらってうれしかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童がさし絵を見ながら朗読を聞けるよう、電子黒板を活用する。  <ul style="list-style-type: none"> ● 発問の2つめに行く前に「考えるシート」を活用し、それぞれの優しさについて考えられるようにする。  <ul style="list-style-type: none"> ● 思考ツールの「たて線」を選び、児童から出された小鳥とぐみの木の優しさをそれぞれひと目でわかるようにまとめていく。

	活動内容	デジタル教材の活用
まとめ	<p>4. 本時の学習を振り返る。</p> <p>T：今日の学習で学んだことを振り返りましょう。</p> <p>C：相手のことを考えて、自分にできる親切をしていきたい。</p> <p>C：親切にしたり、されたりするとうれしいから、すすんで親切をしていきたいと思う。</p>	

指導者用デジタル教材を活用したことで得られた効果

電子黒板にさし絵を表示することで、ぐみの木と小鳥の関係性や、なぜ二人が困った表情をしているのかなど、児童が想像をふくらませることができる。

また「考えるシート」を活用することで、ぐみの木と小鳥それぞれの優しさについて児童がすすんで考えることにつなげることができる。お話の内容をつかむことが困難だった児童への支援としても活用できる。